

平成22年度 全国中学校体育大会 第32回 全国中学校軟式野球大会



～汗キラリ みんな輝け 岡山で～

【1回戦】 前橋第一中学校（関東ブロック・群馬県） VS 広田中学校（近畿ブロック・兵庫県）

広田中原君 1点を守りきり完封で初戦突破！！
前橋第一中大塚君 好投するもあと一歩及ばず

【平成22年8月19日(水) マスカットスタジアム 第3試合】

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
広田（兵庫県）	1	0	0	0	0	0	0	1
前橋一（群馬県）	0	0	0	0	0	0	0	0

主審〔木嶋〕 塁審(一)〔大東〕 (二)〔大塚〕 (三)〔栢原〕

☆バッテリー

- ・(広) 原 - 藤井
- ・(前) 大塚 - 家崎

☆長打

- ・二塁打 赤松(広)
- ・三塁打
- ・本塁打

【試合経過】

近畿代表 広田中学校と関東代表 前橋第一中学校の対戦は、1回表、いきなり、先頭の赤松君がレフトオーバーの二塁打で出塁する。送りバントで三塁に進み、二死後捕逸でランナーが生還して広田中は1点を先制する。その後は両チームともなかなか得点がとれない。前橋第一中のエース大塚君は、コントロールがよく緩急をつけて打たせて取るピッチング。広田中のエース原君は、切れのある直球を武器に強気で押しピッチングでともに得点を与えない。また、ヒットや四死球でランナーを出しながらも、両キャッチャーが強肩で盗塁を2つずつアウトにするなど、チャンスを広げさせない。ピッチャーの好投にバックも堅い守備で応え、相手のチャンスにも落ち着いてプレーし、試合は膠着状態のまま終盤にさしかかる。7回表、広田中は3、4、5番のクリーンナップが三者凡退。7回裏、前橋第一中最後の攻撃は二死無走者から7番大塚君と8番小菅君が連続レフト前ヒット。二死一・二塁と粘りを見せるがあと一歩及ばず試合終了。両投手が好投し、引き締まったナイスゲーム。紙一重の差で広田中が勝利をものにした。

広田中 原投手



前橋第一中 大塚投手



【監督談話】 広田 中学校 小嶋崇浩 監督

前橋第一中は機動力があり、自分たちと似たチームだと思っていた。1点を争う厳しい試合となり、最後まで勝てるとは思わなかった。ピッチャーの原君は、ストレートに力があり、変化球も交えていくように声をかけており、期待通りのピッチングをしてくれた。勝敗を分けたポイントは、初回に先制できたことと相手がランナー3塁の場面でも慌てず、しっかり守れたことだと思う。明日も自分たちのプレーができるようにしたい。

【監督談話】 前橋第一 中学校 中野智弘 監督

負けはしたが接戦に持ち込めたのはよかった。うちのペースで野球ができた。1回表のパスボールで点が入った場面は、初戦なので選手が緊張していたのかなと思う。選手の気持ちをうまくコントロールできなかったのは私の責任である。スコアリングポジションまでランナーを進めても、相手がよく守って点が取れなかった。ここまで勝ち上がって来られたのは選手たちの力、感謝している。

広田		打数	得点	安打	打点	盗塁	犠打	四死球	三振
⑥	赤松	2	1	1	0	0	0	1	0
⑧	平	3	0	0	0	0	0	0	0
⑨	栢木	3	0	1	0	0	0	0	0
①	原	3	0	0	0	0	0	0	1
④	森岡	3	0	0	0	0	0	0	0
②	藤井	2	0	0	0	0	0	0	1
⑤	石井	2	0	0	0	0	0	0	1
③	清水	2	0	0	0	0	0	0	0
⑦	永峯	2	0	1	0	0	0	0	1
計		22	1	3	0	0	0	1	4

前橋一		打数	得点	安打	打点	盗塁	犠打	四死球	三振
⑧	橋本	3	0	0	0	0	0	0	0
④	田口	2	0	1	0	1	0	1	1
②	家崎	3	0	1	0	0	0	0	2
⑥	田村	3	0	0	0	0	0	0	0
⑦	林	2	0	0	0	0	0	0	1
H	下田	1	0	0	0	0	0	0	1
⑤	中嶋	2	0	0	0	0	0	1	0
①	大塚	2	0	2	0	0	1	0	0
⑨	小菅	2	0	1	0	0	1	0	0
③	田中	2	0	0	0	0	1	0	1
計		22	0	5	0	1	3	2	6

投手	回数	打者	球数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
原 広田	7	27	89	5	6	2	0	0
大塚 前橋一	7	23	81	3	4	1	1	0

試合経過、チーム紹介などを掲載したホームページが下記のアドレスに開設されています。

URL <http://www.kurashiki-oky.ed.jp/school/baseball/>

倉敷市実行委員会 記録広報部